

事例4 「登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈すること」をねらった事例

○学年 第2学年

○主な領域 [思考力・判断力・表現力等] C 読むこと

○事例のポイント

- ①登場人物の設定の仕方を捉えることで、文章の内容をより深く理解できるようにする。
- ②登場人物の言動が、話の展開にどのように関わっているかを考えることができるようにする。
- ③ICT端末を活用し、友達と考えや意見を共有し、自分の考えに反映できるようにする。

1 単元名・教材名 登場人物にインタビューをして作品を味わおう 「走れメロス」 太宰 治

2 生徒の実態と本単元の意図

本学級の生徒は、これまでの文学的文章の学習を通じて、登場人物の言動の意味などについて考え、人柄や心情を読み取ることができるようになってきた。今後は、登場人物の言動が話の展開にどのように関わっているかを考え、内容をより深く解釈できるようになることを期待している。

本単元は、登場人物の設定の仕方を捉え、話の展開と関連付けて作品の魅力を味わうことを目的としている。村の牧人である主人公のメロスは、のんきであるが、邪悪に対しては人一倍敏感であり、正義感が強い性格である。一方で、王ディオニスは、人の心を疑い、横暴な振る舞いをする人物として描かれている。こうした対照的な二人を中心に、登場人物の言動と話の展開を関連させながら解釈し、思いや考えを広げたり、深めたりすることにもつながるようにしたい。

指導に当たっては、『中学校学習指導要領解説国語編（平成29年7月）』の第2学年「C 読むこと」の指導事項である「イ 登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈すること」を重点的に指導するために、登場人物へのインタビュー内容と、その受け答えを考える言語活動を設定する。「なぜ、王城へ行ったのか。」「どうしてメロスのことを信じたのか。」など、登場人物にインタビューをすることで、文章中から受け答えを読み取る必然性が生まれ、場面ごとに登場人物の言動を整理していくことができると考えている。また、登場人物へのインタビュー内容を考えるのにあたっては、グループによる活動とすることで、他の生徒の考えや意見を共有し、自分の考え等に反映できるようにしていく。話合いの際には、既習事項である第2学年「A 話すこと・聞くこと」の指導事項「オ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること」を踏まえた指導を行う。ICT端末についても、効果的に活用したい。

3 単元の目標

- (1) 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 〈知識及び技能〉(1)エ
- (2) 登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈することができる。 〈思考力・表現力・判断力等〉C(1)イ
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

4 本単元における言語活動

小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。

(関連：言語活動例 イ)

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	①「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。(C(1)イ)	①粘り強く、登場人物などの言動の意味を考え、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。

6 指導と評価の計画（全5時間扱い）

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1 2	<p>○学習のねらいや進め方をつかみ、学習の見通しをもつ。</p> <p>○本文を読んで話の展開や内容の大体をつかみ、感想をもつ。</p> <p>○メロス・ディオニス・セリヌンティウスの設定の仕方について、ノートにまとめる。</p>	<p>○ 登場人物の設定の仕方</p> <p>編 P35 指導計画作成の留意事項(11)</p> <p>事例のポイント① 登場人物の設定の仕方を捉えることで、文章の内容をより深く理解できるようにする。</p>	<p>○登場人物の設定を捉えるために、メロス・ディオニス・セリヌンティウスの言動や性格について、文章中の表現を用いてまとめるようにする。</p> <p>○第4時で、インタビュー形式の学習を進めるため、登場人物の言動に注目させる。</p> <p>○場面は、「シラクスの町」「王城内」「村」「王城へ戻る途中・メロスを待っている間」「刑場」に分ける。</p>
	<p>ノートの記述例</p> <p>【メロス】 政治がわからない 村の牧人 邪悪に対しては人一倍敏感 妹と二人暮らし のんき 人を疑わない 疑うことと嘘をつくことが嫌い 正直者</p> <p>【ディオニス】 暴君 邪知暴虐 人を信じていない 本当は人を信じたい人 仲間が欲しい人</p> <p>【セリヌンティウス】 メロスと竹馬の友 石工 メロスを誰よりも信じている 正直者</p>		<p>【知識・技能①】 ノート・観察 ・ここでは、抽象的な概念を表す語句を理解して文章中で使用しているか確認する。</p>
3	<p>○メロス・ディオニス・セリヌンティウスへのインタビュー内容を考え、ICT端末に記録する。</p> <p>編 P35 指導計画作成の留意事項(8)</p>	<p>○登場人物の言動と話の展開の関わり</p> <p>事例のポイント② 登場人物の言動と話の展開の関わりに気付かせるため、「なぜ」と問いかけるインタビュー内容にする。</p>	<p>○4人1組の班を9班つくり、それを3班ずつ、3つのグループに分ける。</p> <p>○メロス・セリヌンティウス・ディオニスを担当する班に分ける。(それぞれ3班ずつ担当する。)</p> <p>○「人を疑うこと」について、メロス・セリヌンティウス・ディオニスがどのように考えているか、3人の言動に注目させる。</p> <p>○「王城内」、「王城へ戻る途中・メロスを待っている間」、「刑場」の場面で考える。</p> <p>○前時の登場人物の設定の仕方と学習したことと関連付けて考えることがで</p>
	<p>メロスへのインタビュー例</p> <p>【王城での場面】 「メロスさんが一番嫌いなことは何ですか。」「なぜ、王城へ行ったのですか。」「王の話聞いてどんなことを考えましたか。」</p> <p>【山賊を倒した後（王城へ戻る途中）の場面】 「あの時、立ち上がることができなくなりましたが、どんなことを考えていたのですか。」</p> <p>【刑場の場面】 「なぜ、セリヌンティウスに『悪い夢』を見た、と言ったのか、話さなくてもよかったのではないですか。」</p>		

	<p>王へのインタビュー例</p> <p>【王城での場面】 「メロスが王城へ来たときは、どう思いましたか。」「メロスが『人の心を疑うのは、最も恥ずべき悪徳だ』と話したときは、どう思いましたか。」「メロスと約束したのはなぜですか。」「王様は、なぜ人を信じていないのですか。」</p> <p>【刑場の場面】 「メロスが戻ってきたときは、どう思いましたか。」</p> <p>セリヌンティウスへのインタビュー例</p> <p>【王城での場面】 「王城に連れてこられたときは、どんなことを考えましたか。」「王城でメロスと会ったときは、何を思いましたか。」</p> <p>【メロスを待っている場面】 「王様にいろいろ言われたときには、どんなことを考えていましたか。」「メロスは戻ってくると思いましたか。」</p> <p>【刑場の場面】「メロスが戻ってきたときには、何を思いましたか。」</p>		<p>きるよう、生徒のノート の記述を提示する。</p> <p>【思考・判断・表現①】 <u>ノート・観察</u> ・ここでは、登場人物の言動の意 味などについて考え、内容を解 釈しているか確認する。</p>
4	<p>○他の班が考えたインタビュー内容についての回答を班で考える。</p> <p>事例のポイント③ ICT端末を活用し、登場人物のインタビュー内容に対する受け答えを記録する。</p> <p>○インタビューの回答を班ごとに発表する。</p>	<p>○登場人物の言動と話の展開の関わり</p> <p>事例のポイント② 登場人物の言動が、話の展開にどのように関わっているかを考えることができるようにする。</p> <p>編 P35 指導計画作成の留意事項(8)</p>	<p>○自分たちが担当していない人物のインタビュー内容について、叙述を基に根拠を明確にして考える。</p> <p>○ICT端末を活用して、班で話合ったことを、クラス全体で共有できるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 <u>課題解決をしている様子、発表</u> ・ここでは、複数の叙述を根拠に登場人物の言動と話の展開を関連付けて伝え合おうとしているかを確認する。</p>
5	<p>○前時で学習したインタビューの内容を踏まえ、登場人物の言動と話の展開の関連について考える。</p> <p>登場人物と話の展開の関わりの一例 「メロスは、「人の心を疑うのは、最も恥ずべき悪徳だと思った。」「私は、戻らなければ嘘をついたことになるな。」と答えたけれど、妹の結婚式の場面で、「一番嫌いなものは、人を疑うこと、嘘をつくこと。」と言っている。この考えは、王城・妹の結婚式・王城へ戻る途中のそれぞれの場面と関連しているね。」</p>	<p>○登場人物の言動と話の展開の関わり</p>	<p>○前時までに学習した登場人物の言動と話の展開を関連させる。</p>

7 本時の学習指導（本時4／5時）

(1) 目標

- 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。〈学びに向かう力、人間性等〉

(2) 評価規準

- 粘り強く、登場人物の言動の意味を考え、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。 **【主体的に学習に取り組む態度】**

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
1 前時の学習を振り返り、本時の課題を確認する。		○前時に考えたインタビューを提示する。	5
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">インタビュー内容に対する受け答えを考えよう。</div>			
2 登場人物はどのように答えるか、4人1組のグループで考える。	○登場人物の言動と話の展開の関わり	○自分たちが担当していない人物のインタビュー内容(受け答え)を考える。 ○作品中の叙述を根拠に考えるようにする。	20
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">事例のポイント③ ICT端末を活用し、登場人物のインタビュー内容に対する受け答えを記録する。</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">事例のポイント② 登場人物の言動が、話の展開にどのように関わっているかを考えることができるようにする。</div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>メロスの受け答えの例</p> <p>【王城での場面】 「わたしが一番嫌いなのは、人を疑うことと嘘をつくことです。」 「王が邪知暴虐だからです。」「あきれた王だなと思ったよ。」「町を暴君から救いたいと考えたな。」「人の心を疑うのは、最も恥ずべき悪徳だと思った。」「罪のない人を殺して、何が平和だ、と思ったよ。」「王様は、なぜ人を信じていないのだろう。」</p> <p>【山賊を倒した後(王城へ戻る途中)の場面】 「情けないなあ。」「王の思うつぼだ。」「どうでもいい。」「くだらない。」「私は負けた。」「勝手にすればいい。」「私は、戻らなければ、嘘をついたことになるな。」</p> <p>【刑場(再び戻ってきた)の場面】 「一度は戻るのを諦めたんだ。でも、そのことも正直に言うよ。私は嘘をつきたくないから……。」</p> <p>王の受け答えの例</p> <p>【王城での場面】 「短刀を持って何しに来たんだ。」「このこの城にやってきて無礼な奴だ。」「城に一人で乗り込んでくるとは勇敢な奴だ。」「疑うのが正当の心構えなのだ。」「人の心はあてにならない。」「口では何とでも言える。」「私には人のはらわたの奥底が見える。」「やっぱり人は信じられない、という私の考えを見せつけてやりたいからさ。」「私は昔は信じていたさ。でも身近な部下に裏切られたんだ。」</p> <p>【刑場の場面】 「人を信じることは、大切だなと思ったよ。(信実とは決して空虚な妄想ではなかった。)」</p> </div>			
3 グループで考えた回答(受け答え)を発表する。			15
4 本時のまとめをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">事例のポイント③ ICT端末を活用し、登場人物のインタビュー内容に対する受け答えを記録する。</div>	<p>評価規準</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 <u>課題解決をしている様子、発表</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ここでは、複数の叙述を根拠に登場人物の言動と話の展開を関連付けて伝え合おうとしているかを確認する。 (努力を要する状況(C)への手だて) 文章中の叙述を根拠にする。場面を教科書のページ数を伝え支援する。 	3
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">インタビュー内容に対する受け答えを考えることで、場面ごとに登場人物の言動の意味をとらえることができた。</div>			
5 学習の振り返りをする。			7
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">〈期待される生徒の振り返り〉 インタビューにどのように答えるかを考えることで、登場人物の言動を場面ごとに整理することができた。</div>			